



牡幼だより

第2号

【ホームページ】<http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～トウカエデの花～



自分たちで創り出す

年長3人での生活が始まってから、1か月が経とうとしています。子どもたちは、何かというと「たけ組さんになったから。」という言葉で、張り切って活動しています。洋服が濡れてしまったから着替える場面、給食のテーブルを拭こうと台拭きを絞る場面、必要な道具を自分で探してくる場面等々、主体的に遊びや生活を繰り返しています。

ある日の給食後、一人の子どもがランドセルを背負った子どもの絵を書き始めました。それは、新1年生になった元たけ組さん5人の絵でした。

「Aちゃんは緑色のランドセルだったでしょ。」

「Bちゃんは（ランドセル）ピンクだよね。」

「C君、給食の〇〇（苦手な物）食べてるかな？」

「きつとがんばってるよ。」

と、2年間一緒に過ごしてきた友達のことを思い、絵で表現し、話をしているのです。

昨年は年長組と年中組の合同保育でしたので、年中さんの頃の3人は、年長さんに混ざってまねたり、助けてもらったりしていました。現在、年長さんになった3人の子どもの、友達を想う心の成長ぶりに驚き、とてもうれしい気持ちになりました。

そんな子どもの姿から、互いに信頼関係で結ばれた昨年度の8人の子どもたちは、決して集団とはいえない極少数人数ではありましたが、その人数が何人であろうとも、一人一人がかけがえのない存在であることを肌で感じてきたのでしょう。

今年度は、3人での暮らしです。小さなことでも、自分たちで「決めた」という、経験を積み上げていこうとしています。そのために必要なことは、自分の思いや考えを言葉にすることです。言葉は、人と人とのコミュニケーションの中でこそ育まれます。友達や先生と一緒に何かを創り出していく過程の中で、言葉で考えや思いを伝え、相手の考えや思いを理解するという「通じ合い」の場面をたくさんさせていきたいと願っています。ありのままの自分が認められているという安心感や互いのよさを認め合える支持的風土を一層醸成し、先生の子どもへの願いも込めながら、子ども自身が決めていける関係性を築いていきたいと思えます。



昨年度の年長さん5人が
ランドセルを背負っているところ

げんき土づくり, 継続しています! (食育)

牡丹山小学校の調理室から、今日の給食の野菜くずをいただいてきました。早速子どもたちは、野菜くずをちぎりました。「ぼかし」を混ぜて畑の土に混ぜ込みます。1か月後に完成する畑に、何を植えるのかこれから相談していきます。もう一つの畑ではなかなか出てこないジャガイモの芽がようやく出てきてひと安心です。



ジャガイモの芽!



他園との交流(人との関わり)

26日、朝から子どもたちはウエルカムボードを飾って、市之瀬幼稚園・西幼稚園の子どもたちの到着を待ちました。9人の子どもたちが集まると、初めて出会った子どもともあつという間に仲良しに。同年齢の友達と関わるのは楽しいね。



虹色のこいのぼり(地域連携)

東区の「寺山こい来いフェスタ」から依頼のこいのぼり作りに取りかかりました。最初は、個々に好きな色を塗って見たら、色が濁ってしまいました。相談した結果、色を分けて塗ることにしました。きれいな虹色のこいのぼりが完成!次は「こうしようよ。」と、次々に子どものアイデアが足されていきました。ぜひ、会場へ見に行ってみてください。



4月の子どもたち



4月の予定を、3人の子どもと先生とで確認しました。



「はなみずきさくら公園」へ出かけました。花びらいっぱい、きれいだね。



タクシーに乗って、サーカス見学。ピエロさんおもしろいね!



幼稚園の八重桜で「桜茶」を調理中。修了式まで塩漬けにします。



大きなこいのぼりがピュンピュン遊戯室を泳ぎました。



ヨモギ団子づくり。すり鉢が動かないように、友達が押さえてくれました。



ウサギの「ミルク」のお世話は、お任せです!



テラスのセメントにアリの巣発見! 大きないも虫を運んでいるよ。